

# 平成18年度 事業計画書

## 目 次

### 【 1 】 学園の事業計画（概要）

- 1．財政計画
- 2．地域との連携

### 【 2 】 各設置校の事業計画（概要）

- 1．日 本 文 理 大 学
- 2．日本文理大学附属高等学校
- 3．日本文理大学医療専門学校
- 4．NBU大分美容専門学校

学校法人 文理学園

# 平成18年度 事業計画書

学校法人文理学園は、人間社会と地球環境とが共生しながら、新たな文明社会を拓く人材の育成を目指してきました。また、自由で創造性に満ち個性ある高度な知性と能力を身につけ、様々な分野・領域で指導的な役割を果たすことのできる有意な人材を育成することを目的としている。

恒常的な少子化による大学全入時代を目前に控え、当学園において慢性的になりつつある学生数の減少に伴う財政的な危機感を全教職員が認識し、在学中の学生・生徒はもとより、これから当学園を志望する人たちの為に施設・設備の充実と教育環境の整備を整えることを念頭に置き、平成18年度事業計画を作成しました。

## 【1】学園の事業計画（概要）

### 1. 財政計画

（単位：百万円）

区 分	平成17年度決算額	平成18年度予算額
資 金 収 入	12,521	4,493
資 金 支 出	12,939	5,117
帰 属 収 入	5,893	4,507
消 費 支 出	5,074	4,990

（注）1. 単位未満切捨て

2. 資金収支及び資金支出は、繰越支払い資金控除後

### 2. 地域との連携

学園の設置校が所在する地域の自治体、民間団体及び住民とのコラボレーションを促進し、教育研究活動も含めて一層の協力体制を築き、地域に開かれた学校としての充実・強化を図っていきます。

## 【2】各設置校の事業計画

### 1. 日本文理大学

#### （1）大学の改組の検討

工学部7学科のうち、建設都市工学科、建築デザイン学科、環境マテリアル学科の平成19年度の募集を停止し、新たに平成19年度に建築学科を設置する。またこれにともなう学則変更を行う。さらに、社会の要求に応え

うる魅力ある学部の構築を目指し、平成20年度に向けて工学部と経営経済学部の改組案を策定する。

#### (2) 教育課程と組織

- ) 工学部旧学科（機械工学科、電気工学科、建築学科、航空工学科）は在籍学生の卒業を待って廃止する計画である。
- ) 平成15年度に改組を行った経営経済学部については、今年完成年度を迎えるので、履行状況等について再確認を行う。
- ) 新たに大学の理念「産学一致」・「人間力の育成」・「社会・地域貢献」を定め教育成果の向上を目指す。

#### (3) 教育活動

- ) (社) 日本産業カウンセラー協会の認定する産業カウンセラーの資格取得を希望する学生のために、産業カウンセラー養成講座を開講する。
- ) 学生一人ひとりに対して責任ある教育を行うため、基礎学力支援センター並びに進路開発センター機能の充実を図り、学力の高い学生のための選抜コース（平成18年度より「Sクラス」と呼ぶ。）に所属する学生の更なる資質向上をめざす。
- ) 前年度に続き学期毎に2回の授業アンケートを実施し、授業改善の努力を行う一方効果的な授業のための研修会を開催する。
- ) キャリア開発教育として、進路開発センターでは、学年に応じた個別対応面談システムを運用して、就職率100%をめざす。また、各種資格取得のための講座の開設、インターンシップの推進、合同企業セミナーの開催など多様な指導に基づくキャリア開発教育を引き続き行う。  
また、多様化する学生達のために、学生相談室と連携を保ちながら、学生の学習意欲の増進を図る。

#### (4) 研究活動

- ) 文部科学省の研究推進事業である「私立大学学術研究高度化推進事業」の中の「ハイテク・リサーチ・センター整備事業」に採択された本学のマイクロ流体技術研究所の研究プロジェクト「昆虫型超小型飛翔ロボットの研究開発」を推進し、中間報告に向けての研究成果を蓄積する。
- ) 「産学官民連携推進センター」より、地域社会に向けて教員の研究情報の発信をするとともに、密接な関係構築に向けて努力する。
- ) エンジニアリング・リサーチ・センター（ERC）では、CATIAソフトを利用し完成した。CAD/CAM一貫加工システムを充実発展させ、普及に努める。

#### (5) 第三者評価ほか

- ) 第三者評価検討委員会を立ち上げ、準備に入る。

- ) 教員評価システムを構築し、教員の教育研究・社会貢献活動の活性化を図る。
- ) 学生募集のための教員組織を構築し、入試広報サービスと連携させ、募集定員充足を確実なものとする。
- ) 科学研究費補助金をはじめ、学外からの研究資金の導入に努力する。
- ) 各種スポーツの振興をめざす。

## 2 . 日本文理大学附属高等学校

### ( 1 ) 教育活動

基本的な生活習慣の確立を図りながら心身の健全な育成及び、基礎学力と技能の習得ならびに個々の能力を最大限に発揮させ、学力の向上を目指す。

#### ) 基本的生活習慣の確立

身嗜みの整齊

遅刻・欠席・早退の極小化

### ( 2 ) 施設の整備

外周塀の改修、防犯対策を主眼とするセキュリティ強化のため監視カメラを設置、校舎講義室内装、照明・建具取替え工事等改装工事、創立50周年事業計画継続工事の野口野球場屋内練習場新設及び野口寮食堂棟改装工事

## 3 . 日本文理大学医療専門学校

### ( 1 ) 教育活動

- ) 前年度に続き、国家試験対策を本校の最重要課題に位置付け、合格率(90%)向上を目指し、模擬試験、特別講義、夏季特別講義等を充実させる。
- ) 不得意科目克服のため、0時限また放課後を利用し徹底した指導を強力に推進する。
- ) 教員の質の向上を目指し、教師研修会を実施し信頼性の高い授業が提供できることを目指す。

### ( 2 ) 学生生活、キャリア・サポート

- ) 学生に対し毎時限毎の学習報告書提出の義務化を推進する。
- ) 平成19年度は診療放射線学科に加え、臨床検査学科及び臨床工学科の臨床実習を実施することになる為、本年度前半に実習病院の確保を図る。

### ( 3 ) 広報活動

- ) 県内外の高校に広報活動を推進した後、体験方式のオープンキャンパスを2回実施(夏・秋)することにより本校をアピールする。
- ) 本校への個人的な見学・説明会は希望者が出た時点で随時対応する。(土・日も対応)

#### (4) 組織運営

- ) 校務分掌に基づいた分担業務を確実に推進し、授業や学生募集活動の業務について教職員の相互理解により学生へ質の高いサービスが提供できる環境作りを目指す。
- ) ルールに沿った学校運営が行なわれる体制を強化するために、業務全般において規定・細則・基準・マニュアル等の整備を図る。

#### (5) 教育環境及び施設の整備

- ) 医療専門学校としての特性として、実験・実習に必要な施設や備品の整備・充実を推進するため、予算配分及び支出に特段の注力を払う。
- ) 20号館 B 棟正面玄関前の階段の整備、

### 4 . NBU大分美容専門学校

#### (1) 教育活動

- ) 学生の不得意科目の把握と克服の為の特別指導を実施する。
- ) 国家試験に準じた模擬試験を、定期的を実施する。
- ) 技術実習では、国家試験の内容に即した実践形式での技術を修得させる。
- ) より質の高い教育活動を目指し、教員研修を実施する。
- ) 講義をより理解させるために、学習報告書を毎時間提出させ教員が添削し指導する。

#### (2) 広報活動

- ) 学生の安定確保を最重点課題と位置付け、積極的な募集活動を教職員全員であたる。
- ) 毎週土曜日にオープンキャンパスを実施する。(随時可能)
- ) コンテストやイベントに積極的に参加し、学校名をアピールできるようにする。
- ) 学生募集向上のため、楽しく、暖かい雰囲気を出せるよう、年間行事や授業にもより一層の工夫をする。

#### (3) 学生生活、キャリア・サポート

- ) 就職や大学への編入学の相談について、学年クラス担任及び就職指導の教員が、学生個々の希望に沿った個別指導を早い段階から実施する。
- ) 学生の保護者に対して、学校通信を作成して、学校での状況を定期的に連絡する。
- ) 将来サービス業に従事する者として、挨拶の励行指導を行なう。